

令和2年第4回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	27	小沢和悦	<p>1 「特別障害者手当」制度の積極的活用促進について</p> <p>(1) これまでの周知方法と手当受給者数</p> <p>(2) 手当支給対象者の範囲</p> <p>(3) 早急な対象者の把握, 活用促進, 今後の周知方法</p> <p>2 三本木パークゴルフ場の補修整備と利用者の声に応える改善策について</p> <p>(1) 芝生の現状と原因の検証結果</p> <p>(2) 利用者からの要望, 意見への対応</p> <p>(3) 料金の考え方</p> <p>(4) ふわふわドームはパークゴルフ場の関連施設か。トイレ等もないが, 管理はどこが行っているのか</p> <p>3 福島第一原発事故で発生し, 市内で保管している 8,000 Bq/kg超の放射能汚染農林系廃棄物の処理について</p> <p>(1) 11月2日の大崎広域事務組合議会請願審査特別委員会での事務組合事務局答弁(国と各市町の協議で処理すべきもの)をどう理解しているか</p> <p>(2) 処理方法について, 市長はどう考えているのか</p> <p>4 大崎地方合併協議会がめざした大崎市の認知症予防等の方向について</p> <p>(1) 第14回大崎地方合併協議会会議録を読んだ市長の感想</p> <p>(2) 令和2年度からの田尻診療所の認知症医療はそれまでの医療を継続しているのか</p> <p>(3) 合併協議会がめざしたのは旧田尻診療所を典型にし, 認知症対策を広げることではなかったのか</p>
2	5	山口 壽	<p>1 交通網整備で大崎に新しい活力を</p> <p>(1) 渋滞緩和のために立体交差の考えはないのか, 伺う</p> <p>(2) 国道4号の第3のバイパス構想を国に提案してはいいか</p> <p>(3) 市民生活の安全・安心できる交通網整備を市においてどのように考えているのか, 伺う</p> <p>2 世界農業遺産大崎耕土の新しい活用策は考えているのか</p> <p>(1) 農業者以外の市民や大崎市以外の皆さんが知られていない状況に対しての対策は考えているのか, 伺う</p> <p>(2) 大崎耕土を生かした, 大きく考えた名案はないのか, 伺う</p>
3	25	木内知子	<p>1 女川原発再稼働について</p> <p>(1) 本市の再稼働への考えについて</p> <p>(2) 原発事故単独災害発生想定時の避難者受入体制について</p> <p>(3) 複合災害発生想定時の避難体制について</p> <p>2 コロナ禍での防災体制整備について</p> <p>(1) 実効性のある避難訓練はされているのか</p> <p>(2) 避難所増設と避難所運営について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
4	21	富田文志	<p>(3) 資機材の整備は万全か</p> <p>(4) マイタイムライン作成の取組の現況について</p> <p>3 大崎市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例（素案）について</p> <p>(1) 本市の自然環境や生活環境が守られる条例になっているか</p> <p>(2) 制定のスケジュールについて</p> <p>1 第2次総合計画後期計画の策定について</p> <p>(1) 前期計画の進捗状況と課題として挙げられることについて</p> <p>(2) 前期計画での震災復興の成果と総括について</p> <p>(3) 計画進行中の事業と財政計画の再精査について</p> <p>2 新幹線東1号線の南進計画「(仮称) 東多田川橋」について</p> <p>(1) 国道4号はYKKAPの朝夕の通勤時間帯に渋滞が発生していると聞くが、承知しているか</p> <p>(2) 新市の一体化を進める道路体系の整備について、達成した部分と未達成の部分の精査はどのように行われているのか</p> <p>(3) 新幹線東1号線の南進計画「北屋敷・宮内線（仮称）東多田川橋」について、これまで検討された経緯はあるのか</p> <p>3 山王川流域の水害対策について</p> <p>(1) 大貫新田ノ目地区の台風19号水害対策の要望と対応について</p> <p>(2) 山王川決壊場所の復旧状況について</p> <p>(3) 山王川第1号隧道改修工事の進捗状況について</p> <p>(4) 山王川決壊の要因と旧迫川の関係について</p> <p>(5) 蕪栗沼遊水地と越流堤について</p> <p>(6) 今後の水害対策と栗原市、登米市と大崎市の広域連携について</p>
5	28	佐藤 勝	<p>1 チグハグな行政と組織の在り方</p> <p>(1) 工業団地（小野新鶴巻）計画は、道路整備（市道荒谷大貫線）が先行すべき</p> <p>(2) 「地域振興拠点施設のあり方検討会議」はなぜ都市計画課が所管なのか。また、産業経済部の組織上の在り方</p> <p>(3) 縦割り行政の欠陥である学校跡地利用について</p> <p>2 松山公民館のバリアフリー化について</p> <p>(1) 松山公民館のバリアフリー化をどう進めるか</p> <p>3 化女沼公園計画の見直しについて</p> <p>(1) 県の計画に現存（平成7年）する化女沼公園計画の見直しについて</p> <p>4 財政構造をどう変えるのか</p> <p>(1) 来年度予算と財政構造改善のためのスクラップ・アンド・ビルドの考え方</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
6	1	早坂 憂	<p>1 大崎市総合計画市民意識調査の結果について</p> <p>(1) 結果についての総評を伺う</p> <p>(2) 調査対象である市民5,000人という人数は、結果等を踏まえると妥当であるか。設定の根拠や対象を増やす必要性について伺う</p> <p>(3) 20から30ポイント代と満足度が低い施策への今後の取組について伺う</p> <p>(4) 平成30年に行った調査を踏まえ、今回の調査へ生かし改善した取組や、新たな課題について伺う</p> <p>(5) インターネットを活用した意識調査の実施について伺う</p> <p>2 大崎市の教育について</p> <p>(1) タブレット端末の一人一台整備が実現した後、実施される教育内容について、どのような内容が検討されているかを具体的に伺う</p> <p>(2) 端末を渡されたからといって、すぐに活用して授業を行うのは困難と考えるが、導入についての考えを伺う</p> <p>(3) 教員向けの研修について、このコロナ禍の中で順調に行えているのかを伺う</p> <p>(4) ICT支援員の配置について、見通しを伺う。人材確保のほか、そのための予算についても確保できる見通しなのか、伺う</p> <p>(5) 学習指導要領の改訂が今年度小学校で実施されたが、コロナ禍の影響はなかったのか。また、来年度は中学校で実施されるが、この状況下で問題なく移行できるのか、改めて伺う</p> <p>(6) 万が一に備え、再度休校措置を取らなければならなくなった場合の対応策について伺う</p>
7	4	山口文博	<p>1 経済政策による観光振興について</p> <p>(1) 観光客の増加による経済効果を促進するために、岩出山城跡や古川城跡等の部分築城について伺う</p> <p>ア 旧岩出山城郭や旧古川城郭の遺跡調査について伺う</p> <p>イ 旧岩出山城郭の大手門、本丸正門復元や登城路の時代背景を考慮した整備について伺う</p> <p>ウ 旧岩出山城郭の本丸御殿を復元して、歴史資料館や美術館などの活用について伺う</p> <p>エ 新大崎市本庁舎建設の際、古川城遺跡の大手門などを記念建造物として復元をし、それに接する堀の遺構もカラー舗装や透水ブロックなどで再現してはどうか、伺う</p> <p>(2) 旧有備館周辺の城下町風小路の整備について伺う</p> <p>(3) 鳴子峡の魅力を、通年を通して感じていただくために、つり橋を架ける必要について伺う</p> <p>2 ワーキングプア「働く貧困層」対策について</p> <p>(1) ワーキングプアの社会問題について伺う</p> <p>ア 大崎市のワーキングプア率と男女賃金格差</p> <p>イ 高学歴や中高年のワーキングプアの問題</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
8	8	八木吉夫	<ul style="list-style-type: none"> ウ ワーキングプアに陥りやすい職種 エ 少子化との関係 (2) コロナ禍での、企業の業績悪化に伴う人件費削減によるワーキングプアについて伺う ア 非正規雇用の増加 イ 低賃金労働者の増加 ウ 税収の減少 エ 若年層の定住減少と少子化の加速 <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ対策支援について <ul style="list-style-type: none"> (1) 各種支援事業が展開され、好評を得ているが、第三波が発生以来、商業、特に飲食業界が非常に大変な状況に陥っている。この状況を打破するために、さらなる支援が必要と思うが、所見を伺う 2 新本庁舎建設について <ul style="list-style-type: none"> (1) 新本庁舎建設は、本社、支社が地元大崎市に所在する企業への発注を最優先にと考えるが、所見を伺う 3 発達障害、ADHDの児童生徒への教育環境整備について <ul style="list-style-type: none"> (1) ADHDの児童生徒が、周りの子供たちと一緒に、安全・安心して学校教育が受けられる配慮があるか、所見を伺う
9	14	鎌内つぎ子	<ol style="list-style-type: none"> 1 PCR検査について <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療、介護、高齢者施設等にPCR検査を 2 学童保育職員への「慰労金」について <ul style="list-style-type: none"> (1) 国の「慰労金」2次補正で活用を 3 統廃合された学校の跡地利用について <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域と行政が一緒に取り組む考えは 4 除雪作業員の働き方改革について <ul style="list-style-type: none"> (1) 働き方改革関連法による除雪作業員の上限規制は 5 文化財の活用について <ul style="list-style-type: none"> (1) 田尻地域の木造千手観音坐像をまちづくりにどう生かすのか
10	19	遊佐辰雄	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策支援事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 持続化給付金、家賃支援給付金を第2弾として再度申請できるよう国に対し、強く要望すること (2) 感染症拡大防止協力金の対象外となった事業者に対する支援策を全ての業種に拡大すべきではないか (3) 特に飲食業に対する家賃補助の再実現、割増商品券の再発行と期間延長をすべきではないか (4) 水道料金等、令和3年4月以降も30%減免を継続すべきではないか
11	23	氏家善男	<ol style="list-style-type: none"> 1 押印廃止に伴う市の対応について <ul style="list-style-type: none"> (1) 検討状況 (2) 押印廃止の範囲

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
12	10	氷室勝好	<p>(3) 廃止の時期</p> <p>(4) 他団体への影響</p> <p>2 行政需要に応じた職員の配置について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う職員の配置</p> <p>ア 持続化給付金や家賃補助, ゴー・トゥー・キャンペーンなど, 即対応できる体制づくりができてきているか</p> <p>(2) 圃場整備要望地区が多く, 推進のための職員体制ができてきているか</p> <p>3 令和3年度水田農業対策について</p> <p>(1) 食用米の減産対策が求められるが, 需要に応じた数量生産への対策について</p> <p>ア 大豆, 飼料米生産の推移</p> <p>イ J Aとの連携について</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症による諸行事への考えと対応について</p> <p>(1) 公の行事への方針</p> <p>(2) 民間の行事や会合への指導</p> <p>1 公有財産の管理及び活用について</p> <p>(1) 普通財産の土地(宅地等)の管理状況及び処分など今後の活用の方針について伺う</p> <p>(2) 貸付資産の現況及び売却資産の処分の取組について伺う</p> <p>(3) 一般会計において, 市役所本庁舎駐車場用地等々それぞれ借地料が支出されているが, その経緯と今後の方針について伺う</p> <p>(4) 大崎市財産管理等審査会の審議経過と行政判断について伺う</p> <p>2 人材育成について</p> <p>(1) 大崎市人財育成基本方針の成果目標値と市民ニーズへの対応の取組について伺う</p> <p>(2) 生涯学習の促進の中で, 本市を担う若い世代に対する学びと育成の環境づくりの推進を図るとのことであるが, 具体的な取組について伺う</p> <p>(3) 若者の人材育成事業の活動現況と今後の実効のある取組について伺う</p> <p>3 文化財保護について</p> <p>(1) 災害発生により市指定文化財の保存, 保護に供していた歴史的に貴重な遺産でもある建物被害の復旧への対応について伺う</p> <p>(2) 市指定文化財の中に極めて貴重な文化財が, 宮城県の指定文化財に値するものもあると思われるが, その基準及び事務手続などについて伺う</p>
13	16	加藤善市	<p>1 地球温暖化対策について</p> <p>(1) 地球温暖化対策と大崎市の取組について</p> <p>ア 化石燃料削減について</p> <p>イ 生ごみ削減について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
14	3	鹿野良太	<p>2 農業問題について</p> <p>(1) 3K (かんどうする・かせげる・かつこい) 農業を 目指して、その進め方について</p> <p>3 新型コロナウイルス対策について</p> <p>(1) 疲弊している飲食店対策について</p> <p>(2) 米価下落と生産調整について</p> <p>1 大崎市における在宅医療のあるべき姿と現状について</p> <p>(1) 現在の大崎市内医療体制の中で、在宅医療に対する市民の理解度をどのように認識しているのか、さらに今後必要な取組について伺う</p> <p>(2) 大崎市在宅医療・介護連携支援センターの役割と成果、今後の課題について伺う</p> <p>(3) メディカルケアステーション (MC S) の利用状況と成果、今後の課題について伺う</p> <p>2 デジタルトランスフォーメーション (DX) 推進計画策定と推進体制について</p> <p>(1) 前回DXを取り上げた一般質問 (6月定例会) では「デジタル化については今後積極的に関わっていく必要性を認識」と市長から答弁があったが、約半年経過した今、DXに対して「積極的に関わっていく認識」から、次の段階として、政策的にDX概念を取り入れる「判断」「実行」へ進んでいるのか、伺う</p> <p>(2) 現在の社会情勢を鑑みると、次期総合計画にDXの概念が入ることは避けては通れないと考える。総合計画の下位計画としてDX推進計画の策定が必要と考えるが、現状の取組状況について伺う</p> <p>(3) DX推進の旗振り役はどの部署と整理しているのか、さらにDXに対応する職員人財育成をどのように行うのか、人財育成基本方針だけで十分か、伺う</p> <p>3 移住支援にもつながるおおさき地域材需要拡大支援事業補助金のさらなる拡充について</p> <p>(1) 今年度の申請状況及び交付決定状況、予算残を伺う</p> <p>(2) 県産材利用エコ住宅普及促進事業 (宮城県事業) と併用できる利点を最大限活用するために今後何が必要と考えるか、伺う</p> <p>(3) 事業拡大のための財源として、農林水産省の補助事業 (林業成長産業化総合対策) などの活用は考えられないか、伺う</p> <p>4 コロナ禍における飲食業、旅館、ホテル業への事業規模に応じた支援拡充について</p> <p>(1) 全国的なコロナ感染者増加に伴い、11月下旬以降、鳴子温泉地域を中心とする旅館、ホテル業、さらに市内の飲食業に予約キャンセルが相次いでいる。事業者の方々には自分たちの経営努力や、社員の頑張りではどうにもならないというやり場のない想いと、閉塞感にさ</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
15	9	佐藤講英	<p>いなまれている。また、一律（金額）ではなく事業規模に応じた支援を求める声も多い。この大変厳しい経済状況に対して、国の3次補正予算を念頭に、行政として今後どのように支援していくのか、所見を伺う</p> <p>1 コロナウイルス感染症予防のさらなる徹底について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症予防徹底と本市の対応と市民の予防意識のさらなる喚起について</p> <p>ア 介護施設職員や医療機関への抗原検査費用の助成について</p> <p>(2) コロナウイルス感染者や濃厚接触者、医療従事者等への人権侵害の認識について</p> <p>ア 人権相談体制の充実が市民満足度の調査で高くなったとあるが、コロナウイルス感染に関する相談について</p> <p>イ 地域コミュニティ活動の支援と協働のまちづくりとコロナウイルス感染について</p> <p>ウ コロナウイルス感染者、濃厚接触者、医療機関や検査に関わった医療従事者等への誹謗中傷は絶対に許さないという、本市の意思表示と条例制定について</p> <p>(3) コロナ禍の中で高齢者の在宅介護を余儀なくされている家族への支援について</p> <p>ア 施設に入所したくとも入所できない在宅高齢者の実態について</p> <p>イ 在宅介護を支えている介護ヘルパー不足の対策について</p> <p>(4) コロナ禍における自死者の現状について</p> <p>ア 全国で20代と40代女性の自死者が前年度より40%増えているが、本市の実態について</p> <p>(5) 令和3年新成人式について</p> <p>ア コロナ禍における本市の成人式はこれまでのやり方で実施するのか</p> <p>イ 参加する成人へのPCR検査の支援について</p>
16	20	只野直悦	<p>1 持続可能な水田農業の振興について</p> <p>(1) 米の需給改善対策について</p> <p>ア 本市再生協議会の取組方針と実効性について</p> <p>イ 輸出用米の取組と今後の方向性について</p> <p>2 世界農業遺産アクションプランの進捗について</p> <p>(1) 大崎耕土におけるSDGsへの取組について</p> <p>ア ウイズコロナにおけるジアスツーリズムの展望と課題について</p> <p>イ 全地域の意識向上と農泊事業の展望について</p> <p>ウ 巧みな水管理基盤である隧道、潜穴のずり出し穴の調査と整備について</p> <p>3 文化財の保全と継承について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
17	11	佐藤弘樹	<p>(1) 伝統・伝承芸能の継承のための支援について</p> <p>(2) 田尻小松薬師堂に収蔵されている「十二神将」の文化財価値について</p> <p>(3) 未指定になっている文化財の調査について</p> <p>1 新型コロナウイルスへの対応について</p> <p>(1) 新型コロナへの職員感染を想定した業務継続計画の作成や見直し状況は</p> <p>(2) コロナ禍における業務効率化の対策状況は</p> <p>(3) コロナ禍移住への受入体制や取組状況は</p> <p>(4) 新型コロナに係る迅速かつ正確な情報提供に努めているか</p>
18	12	中鉢和二郎	<p>1 さらなる、観光業等へのコロナ支援について</p> <p>(1) 国のゴー・トゥー・キャンペーンで光明が少し見えてきた市内の観光産業だが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の第三波の到来により、ここに来てキャンセルが多発する事態となっている。また、ゴー・トゥー・キャンペーン自体の先行きも不透明で、いつ中断や地域の制限が発動されるか微妙な状態となっている。このことは、本市観光産業に甚大な影響をもたらし、「このままでは、年が越せない」という悲痛な叫びとなっている。</p> <p>国は、本年度の3次補正予算の編成に着手している。自民党地方創生実行統合本部からは、再度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充（1兆円規模）について、要請が菅総理に対してあったとの報道もある。</p> <p>本市においては、この窮状を救うために、国の動きに先んじて、速やかに、プレミアム付き宿泊券発行事業等の需要喚起策を追加するべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>2 観光振興ビジョン改定の進捗状況について</p> <p>(1) 以前の議会において、温泉事業が、現行の観光振興ビジョンに欠落しているとの指摘があった。それを受け、今年度予定されている観光振興ビジョン本体の見直しに先行し、別冊として温泉事業に関する部分である「大崎市観光振興ビジョン温泉事業指針」が昨年度策定された。そこで、本年度の本体の見直しの進捗状況と、観光振興ビジョンに温泉事業指針をどのように位置づける考えか、所見を伺う</p> <p>3 (仮称)温泉保護条例について</p> <p>(1) (仮称)温泉保護条例の制定については、「大崎市観光振興ビジョン温泉事業指針」に明記されており、以前、今年度において制定に向けて取り組む旨の発言があったと記憶しているが、どのような内容を盛り込も</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
19	17	横山悦子	<p>うとしているのか。また、進捗状況についても伺う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 陸羽東線塚目駅再整備について <ol style="list-style-type: none"> (1) 新塚目駅再整備について、JR東日本と最近の協議の中で新塚目駅周辺の道路、当初の整備計画に変更はないのか。現在の進捗状況について (2) 新大江川の整備と古南1号線、稲葉小泉線の進捗状況と、いつ工事完了するのか (3) 駅の名称は検討されたのか。塚目駅となるのか 2 暮らしやすい市民サービスの向上について <ol style="list-style-type: none"> (1) 各種申請手続には「書かない窓口」の導入について (2) 庁内に手続一括案内「おくやみコーナー」を設置することについて (3) 鳴子温泉駅構内へのエレベーター設置について 3 子どもの命を守る児童虐待防止について <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童虐待防止のためには、発生を予防し、早期発見をするには、関係機関の連携が大事である。改正法では児童相談所と婦人相談所及び配偶者暴力相談支援センターとの連携強化が明記された。発生時の迅速、的確な対応が重要になるが、本市の虐待の現状と対策について問う (2) 学校でのいじめ問題、児童虐待の早期発見と適切な初期対応にあたるスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの重点配置が進められているが人員は足りているのか。本市の状況把握について (3) 被虐待児童への自立支援の体制について (4) 関係機関の配置促進、体制強化、相互連携対策 (5) 親などによる体罰の禁止や児童相談所の体制強化などを定める児童福祉法等改正法が成立。子どもへの「しつけ」と称した体罰が虐待につながっていることから、「体罰の禁止」が明記されたが周知方法について (6) 新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まっている。市町村の要保護児童対策協議会が中心となり様々な関係機関と連携し、必要な支援につなげることが重要である。その考えと実態について問う (7) 国は、全市町村に子ども家庭総合支援拠点を2022年度までに設置することにしているが、本市の状況と周知方法について 4 児童、生徒の教育環境の整備について <ol style="list-style-type: none"> (1) 小学校、中学校の校庭のグラウンドやテニスコート、野球場グラウンド等の点検、整備計画について 5 感染症による差別や偏見をなくす取組について <ol style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルス感染症による人権問題をどのように捉えているのか。本市の対策は (2) 感染者等に対する差別や誹謗中傷を防ぐため、広報おおさきやポスターなどでの啓発及び本庁や総合支所等に看板設置をしてはどうか

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			(3) 教育現場に人権問題を取り入れ, 子どもたちが差別や 偏見などを持たないような指導の取組について	